

---

# 君が待っている。

真園みけ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君が待っている。

### 【Zコード】

N8280Y

### 【作者名】

真園みけ

### 【あらすじ】

幼なじみの恋人未満。いつも一緒に。どこでも一緒に。忍耐強い、漢前な彼女と、彼女を溺愛するヘタレ男。

## お外で待ってる。(前)

ああ、もう。

今日に限って、残業なんて。

週末に呼び止められて、来週の予定変更とともになう!!一ティング。

待ち合わせしてのお出かけだというのに。

どんどん気温も下がってきて、雪も降ってきた。

早足で待ち合わせ場所に向かう。

相手は幼なじみで、恥ずかしながら恋人未満。

食事に誘えれば、よっぽどの用がなければOKしてくれる。

先週、一緒にテレビをみながら紹介された食堂に、美味しそうだね、行つてみないか?と誘えれば、うん、いいね。と返事が帰ってきた。

実のところ、今、俺は、出費を控えている身なのである。  
安くして貰いつもりなり、出来るだけ連れていきたい。

俺が美味しい所を見つけた時は必ず次は彼女を連れていく。

洒落た店でなくとも、俺が美味しいと言つたから、と彼女は付いてきて、美味しかったね。と言いながら帰る。

そんなひとときが俺は大好きで、早く早く、彼女の元へいきたくて。

待ち合わせの時間はとうとう過ぎていく。

電話する間も惜しい。

俺は、どんなときも、彼女が  
待っていてくれるのを知っているから。

## お外で待つてる。（後）

やつと、待ち合わせ場所が見えるところまでたどり着いた。

いた。

雪が降りだしてこの間に雨さらしな場所で立つてこらへるなんて…！  
髪も「コードの肩も濡れちゃってるじゃないか…！」

「遅れて」めん

「うん」いひくり。

…そこは否定しないんだね。

本来、真っ白な肌が寒さで頬も鼻の頭も赤くなつてしまつてこる。

…これはこれで可愛いんだけど。

巻いていたマフラーを外して彼女の頭から首回りをぐるぐる巻いた。  
これってマチコマチとかいうんだつけ？

「何処かに入つて雨宿りしてもよかつたのに」

「だつて、真から電話来なかつたから、今、走つてこに向かつて  
る最中だと思つて」

もつと遅れるとわかつてたら電話していくるでしょ…。と。

さすがに幼なじみは行動パターンを読んでいる。

マフラーの巻きを直しながら、ふふ、あつたかい、とフニャッとわ  
らひ。

ああ、そんなわずかな温もりで、『機嫌な猫みたいな笑顔を見せな  
いで。

抱きしめてもつと顔を暖めたくなつちゃうから。

…自重するけど。

「お腹すいただろ？ 行こ？」

手を差し出すとやわらかく握ってくれる。

指先が冷たい。

こんなになるまで待つていてくれる彼女が可愛くて愛しくて。  
小さな手をすっぽりと包むように握る。握る。  
もづきもづきて待つてね。君を幸せにするからと心の中で呟く。  
とりあえず、今は冷えきってしまった君を暖めるものを食べに行こ  
うか。

お外で待つてる。（後）（後書き）

のんびり更新ですが、お付き合いでいただけたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8280y/>

---

君が待っている。

2011年11月27日11時50分発行